



サルビアレター

一人ひとりが輝くまち、燕市を目指して

Vol.10

2024年9月発行
燕市企画財政部地域振興課

市民が企画した燕市男女共同参画講座が開催

男女共同参画をテーマとした講座「世代間ギャップを扉に変える」が9月8日(日)燕市文化会館で開催されました。講座は毎年市民有志からなる実行委員が企画し、今年はラジオパーソナリティの遠藤麻理さん、燕市PR大使のいっすねー！山脇さんがゲストパネラーとして登場しました。

講座では『違和感が残ったジェンダーエピソード』を事前に参加者から募集し、ゲストパネラーのお二人が寄せられたエピソードに関して軽快なトークを披露。身近なエピソードを中心に、参加者は時に共感し、時に疑問をもちらながらそぞれぞれが考える機会を得たようでした。



ジェンダーや世代の違いによる認識のズレは、人によっては非常に高い“壁”的に感じてしまうかもしれません。しかし、思い合い、話し合ってみれば、実はその壁はドアノブが付いている“扉”かもしれない。そんな風に皆さんも考えてみませんか。

日 時 9月8日(日)
午後1時30分～3時30分(開場: 午後1時)

会 場 燕市文化会館

ゲストパネラー

- 【遠藤麻理さん】
ラジオパーソナリティ
- 【いっすねー！山脇さん】
吉本興業所属お笑い芸人
燕市PR大使
- ◆ フォトセッション
木村ひよ子さん(新潟県女性財団)

申込方法 オンライン申込みフォーム、メール、電話、FAX
参加申込締切: 8月30日(金)
※実質に達した場合、早めに申込みを締め切ることがあります。
高市地域振興課
電話 0256-77-8361 FAX 0256-77-8305 メール chikkicity.tsubame.19.jp
共催: 燕市男女共同参画講座実行委員会、公益財團法人 新潟県女性財團、燕市

子どものランドセルの色は年々多様になっていく。もし息子が「ピンクがいい」と言ったら自分はどうするだろう?

女の子が生まれ、周りの人に「女の子はいいわね! 家のこともしてくれるし~」と言われる。女の子だから…?

女性リーダーを増やしたいからといって、個人の能力ではなく「女性だから」でリーダーになるのはどうなの?

